



HMCは、思想・歴史・言語・文学・教育・芸術・建築・法律・政治・生活等にわたる人文学及び隣接諸分野における卓越した研究者による部局横断的な新たな研究協創のプラットフォームを目指しています。

07
2023 Spring



Humanities Center News Letters

オープンヒューマニティーズ基金
公募研究・協働研究活動報告
イベント実施報告
新刊紹介

《社会と未来を開くオープンヒューマニティーズ基金》スタート！

— 人間とは何か、ともに考えるために —

オープンヒューマニティーズ基金は、新たなヒューマニティーズの問いと実践の場に、みなさんにも加わっていただきたいという思いから生まれました。私たちの目指すヒューマニティーズの活動を、研究者だけのものにせず、社会の共有物として有効に活かすために、みなさんのお力をぜひお借りしたいのです。



HMCの活動は、学内外の研究者コミュニティのみならず、社会の様々な人々をつなぐプラットフォームとして新しい役割を果たしつつあります。社会とのつながりを重視するパブリックヒューマニティーズは国外では注目を浴びつつあるように、社会との関わりはヒューマニティーズにとって本質的な課題であるといえます。

寄付をきっかけに、単なる資金援助ではなく、ヒューマニティーズというプラットフォームへの参加を意味するという側面を重視し、社会に開かれたヒューマニティーズの構築の実現に向けて、皆様より温かいご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

特典

HMC フェロー懇談会ご招待

オープンセミナーとリエゾントークのアーカイブ動画ご視聴*

通常は入手できない HMC ブックレット冊子

HMC グッズ（ノート、ペン等）

*権利保護のため非公開部分が含まれる場合があります

詳細は、こちらのWebサイトをご覧ください



ヒューマニティーズセンター（HMC）とは

人文学及び隣接諸分野における卓越した研究者により、部局横断的に新たな研究協創のプラットフォームを目指す連携研究機構。

その対象は思想・歴史・言語・文学・教育・芸術・建築・法律・政治・生活等、広範に及びます。



Ushioda Humanities Initiative (潮田ヒューマニティーズイニシアティブ)

潮田洋一郎氏の財政的支援によりHMCで展開される、新たな国際人文研究拠点。連携研究者はフェロー（兼務教員）としてHMCに所属。

Humanities Liaison (ヒューマニティーズリエゾン)

研究支援人材（URA）を配置し、既存の枠組みを脱してより広範に研究活動を展開していくことを目指します。

公募研究：個人研究者の海外連携等を支援
協働研究：部局横断型の研究を推進



**オープンセミナー、リエゾントーク、
ブックレット**を通じて、研究成果を発信



ヒューマニティーズセンター
Humanities Center

ロゴの四角形は「情報」を表しています。また濃色のオレンジの四角形は「熟成した知識」を示します。各連携部局が連なり、情報を共有しながら、熟成した知識をHMCへ集約させるという理念を表現しています。

協働研究



HMCの立案による3～4年で行う協働研究。個人研究の「公募研究A」、これまでの「企画研究」、リエゾン部門で行っていた「アジアの未来」研究プロジェクトを継続発展させ、2022年10月より下記の研究がスタートしました。今期の協働研究では、メンバーに学内外の研究協力者や博士課程所属の研究補助者が加わっていることも特色のひとつ。これには学内外のリエゾンを目指すHMCスタッフの思いが込められています。名称こそ協力者、補助者ですが、プロジェクトに欠かせない主力メンバーとして活躍しています。

※過去の企画研究の報告書は、HMCのウェブサイトからご覧いただけます。

「顔」は何を語るのか——過去から未来へ

研究代表：永井久美子（総合文化研究科）

研究分担者：高岸輝（人文社会系研究科）、梶谷真司（総合文化研究科）

鈴木敦命（人文社会系研究科）、出口智之（総合文化研究科）

中村覚（史料編纂所）、笠原真理子（HMC助教）

水野博太（HMC特任研究員）

学内研究協力者：平澤加奈子（史料編纂所）

学外研究協力者：上田竜平（京都大学人と社会の未来研究院）

藤田弥世（京都大学学術研究展開センター）

鈴木親彦（群馬県立女子大学）

「顔」をはじめとする容姿は、どのような価値観を生み出すでしょうか。本協働研究は、現実の「顔」のほか、文学や絵画に描かれた「顔」に対する感覚や評価が、人々のものの見方や考え方にどのような影響を及ぼし得るのかを、多様な観点から追究します。具体的には、代表者がこれまでに科研費基盤研究（C）やHMC公募研究（A）で行ってきた比較文学研究の知見を踏まえつつ、協働研究により、歴史学や哲学などの人文諸学の方法を用いた考察にも研究の幅を広げ、自然言語・画像解析、心理実験・調査といった自然科学的手法による定量的検討を行う予定です。

時代や地域を超えて「顔」の問題を広く取り上げることは、現代における多様な価値基準の共生をめぐる議論にも寄与するものとなるでしょう。研究成果はオープンセミナーの開催とブックレットの刊行を通し、広く発信することを目指します。

公 募 研 究



(A) 個人研究

連携部局所属教員を対象とする公募制度を通じて、思想、歴史、文学、教育、芸術、建築、生活等にわたる人文学および隣接諸学分野に関して、国外から研究者を長期間招聘して行なわれる共同研究、または個人で行なわれる研究です。皆さまの研究にぜひご活用ください。次回の募集はHPでご案内いたします。

昨秋、新たに採択した研究は以下の4件です。〈五十音順〉

(研究期間：2022年10月～2023年9月)

「中華人民共和国初期、草の根世論の外的要因に関する研究」

河野 正（附属図書館）

※他大学へ移籍のため2023年3月で終了

「荻生徂徠の詩文と荻生家資料」

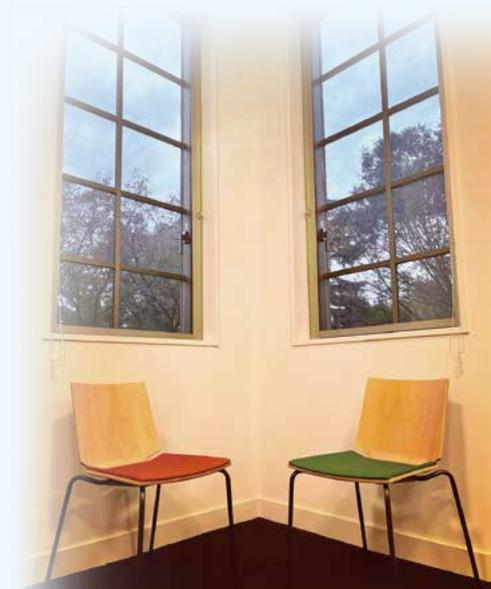
高山 大毅（総合文化研究科）

「戦間期中国東北三省と国際社会：国際金融協調の試みの挫折とその原因に関する歴史社会学的考察（平和で安定的な国際経済社会の条件を探るために）」

原田 央（法学政治学研究科）

「日本の保護司制度の未来：デジタル化を考える」

ローソン・キャロル（法学政治学研究科）



など、大江文学の多様な可能性の探求、文字資料のDX化における問題の検討といった学術研究面を進展させます。またオーラル資料を中心に扱う「現代作家アーカイブの構築と発信」プロジェクトとの連携も検討しています。

開かれた人文学のための文化資源デジタルプラットフォーム

研究代表：中村 雄祐（人文社会系研究科）

研究分担者：杉本 史子（史料編纂所）、大向 一輝（人文社会系研究科）

中村 寛（史料編纂所）、笠原 真理子（HMC助教）

学内研究協力者：真鍋 陸太郎（工学系研究科）

学外研究協力者：平 諭一郎（東京藝術大学未来創造継承センター）

小川 潤（人文学オープンデータ共同利用センター）

研究補助者：関 慎太郎（人文社会系研究科）

計算の高速化、計算機のコモディティ化が同時に進行する今日では、人や物の状態・変化の測定、データ蓄積・計算・可視化が容易になり、デジタル技術を用いた多様な文化資源の研究や活用が進んでいます。しかし、特にネットワーク化されたデジタル技術は汎用技術であるがゆえに、ある程度までは各領域の目的に応じたカスタマイズが可能であるかわりに、蓄積されたデータや成果物の相互連携が新たな課題となっています。

この協働研究は、その課題を解決すべく、学内・学外の研究者と幅広く連携し、文書や文物、遺跡、舞台装置などのデジタルデータを仮想的な3次元空間内に配置し、時空間や意味空間などを追求するためのオープンな文化資源デジタルプラットフォームの構築に向けた基礎研究を行います。具体的には「稲荷湯長屋プロジェクト」「東京大学生協中央食堂プロジェクト」を2本の柱に据えて協働研究を開始します。



現代作家アーカイヴの構築と発信

研究代表：武田 将明（総合文化研究科）

研究分担者：阿部 公彦（人文社会系研究科）、阿部 賢一（人文社会系研究科）

中島 隆博（東洋文化研究所）、村上 克尚（総合文化研究科）

逆井 聡人（総合文化研究科）、中里 晋三（HMC特任研究員）

本企画は、国内外の多くの人々に現代の日本語文学の意義を伝えることを目的として、現役の作家の生の声を記録（アーカイヴ）に残すものです。アーカイヴの制作は2015年に始まり、高橋源一郎、古井由吉、瀬戸内寂聴、筒井康隆、小川洋子、川上弘美など、現代を代表する書き手のインタビューを収録・配信してきました。HMCでは、2018年から本企画を助成していますが、今後はさらに内容を充実・発展させていきます。飯田橋文学会（作家の平野啓一郎氏を中心とする、作家・研究者・翻訳家・編集者などの集まり）と、HMCを始めとする本学の複数部局の協力のもと、協働的にアーカイヴの構築と発信を行い、学内と学外、作家と読者の垣根を超えた幅広い交流を実現させます。3ヶ月に1回のペースで作家へのインタビューを継続的に実施し、動画配信や刊行物による成果の発信を行うとともに、関連企画を実施します。

大江健三郎氏寄託資料に関する基礎的研究

研究代表：阿部 賢一（人文社会系研究科）

研究分担者：安藤 宏（人文社会系研究科）、塚本 昌則（人文社会系研究科）

阿部 公彦（人文社会系研究科）、王寺 賢太（人文社会系研究科）

大向 一輝（人文社会系研究科）、村上 克尚（総合文化研究科）

武田 将明（総合文化研究科）、河野 龍也（人文社会系研究科）

和田 真生（HMC特任研究員）

本学出身の作家大江健三郎氏の原稿が2021年1月に人文社会系研究科に寄託されたことを受け、自筆原稿の基礎的研究・調査が開始されました。同氏についての文献学的研究は研究基盤整備も含めほとんど手つかずの状態にあり、2021年度のHMCにおける企画研究では1万8千枚に及ぶ自筆原稿のデジタル化、森昭夫氏の寄贈図書のリポジトリ化が進められました。

この研究プロジェクトでは企画研究での成果を踏まえ、

- 1) 日本文学・外国文学の研究者（人文社会系研究科、総合文化研究科）が集い、多様な観点から大江文学の読解を試みる。
- 2) 文字資料のDX化における問題の検討といった学術研究面に力点を置く。

オープンセミナー



公募研究、協働研究に参画しているフェローを中心に、随時セミナーを開催しています。一般公開形式、参加費は無料です。最新の知見に触れられる機会をお見逃しなく！



第 71 回 2022 年 7 月 8 日

明治文芸書の装幀と印刷

講演者：岩切 信一郎（國學院大學大学院
講師・美術史家）

企画・司会：出口 智之（東京大学大学院
総合文化研究科 准教授）



第 72 回 2022 年 7 月 15 日

「そんなつもりはなかった」

——コミュニケーションと意図について考える

藤川 直也（東京大学大学院総合文化研究科 准教授）



第 73 回 2022 年 7 月 22 日

はじめての危機言語

長屋 尚典（東京大学大学院人文社会系
研究科 准教授）



第 74 回 2022 年 7 月 29 日

作家イメージの類型論

——頼杖、たばこ、筆記具

報告者：永井 久美子（東京大学大学院総合文化
研究科）

ディスカッサント：李碩（仁川大校）

アジアの都市におけるノスタルジアの表出と文化遺産の創出

研究代表：松田 陽（人文社会系研究科）

研究分担者：菅 豊（東洋文化研究所）、本田 洋（人文社会系研究科）

祐成 保志（人文社会系研究科）、和田 真生（HMC特任研究員）

祝世潔（HMC特任研究員）

研究補助者：雷婷（総合文化研究科）、鄒夢茜（総合文化研究科）

LEE Kah Hui（人文社会系研究科）、強谷 幸平（人文社会系研究科）

青木 蘭（人文社会系研究科）

この研究プロジェクトは、現在のアジアの都市における過去の位置付けを探ることを通して、その未来を考えようという試みです。

急速に都市への人口集中が進行する今日のアジアの都市では、開発事業が至る所で行われ、街並みが恒常的に刷新されます。同時に、そうした目まぐるしい変化に逆らうかのように、過ぎ去った時代が集団的に懐古・追慕・理想化され、ノスタルジアを核とした都市遺産が新たな社会的・商業的活動を誘発しています。これらの活動は過去志向であるように見えて、過去を意識しながら未来をつくり出すという意味で、実は未来志向です。本研究では、中国、韓国、台湾、シンガポールなどの都市空間において、過ぎ去った時代に対するノスタルジアが有形・無形の文化遺産の創出を通していかに表出されているかを多角的に考察します。

《人文社会ウィーク》に参加！

3月6日～12日、《人文社会ウィーク》が実施されました。近年発足した人文社会科学に関係する新たな教育・研究組織—アジア研究図書館・東京カレッジ・東アジア藝文書院（EAA）・現代日本研究センター（TCJS）・ヒューマンティーズセンター（HMC）が構成する、東京大学人文社会科学系組織連絡会議による共催イベント

です。期間中、各組織がシンポジウムやセミナー、ワークショップを集中開催。HMCも、ふたつのオープンセミナー「「顔」は何を語るのか：顔貌コレクションの活用と展望」、「内外から見た日本の保護司制度の現状と課題」でイベントを盛り上げました。

東京大学
人文社会科学系組織連絡会議

人文社会ウィーク
Humanities and Social Sciences Week
(HSS Week)

2023年3月6日（日）～3月12日（日）

主催：東京大学 人文社会系組織連絡会議
（2017年7月）、アジア研究図書館（2018年4月）、東京カレッジ（2022年3月）、東アジア藝文書院（2018年3月）、現代日本研究センター（2022年7月）、ヒューマンティーズセンター（2022年9月）

このイベントは、現代、東洋、人文社会科学の分野の学際的連携の促進と、人文社会科学系組織連絡会議の発展を目的として開催されます。

ヒューマンティーズセンター
アジア研究図書館
東京カレッジ
現代日本研究センター



第 79 回 2022 年 8 月 20 日

法を通じて世界を見る

——客観法と主観法

報告者：異 智彦（東京大学大学院法学政治学研究科
准教授）



第 80 回 2022 年 8 月 26 日

3D と人文情報学

報告者：スーザン・シュライブマン Susan Schreibman
（マーストリヒト大学 教授）

コメント：小川 潤（ROIS-DS 人文学オープンデータ
共同利用センター 特任研究員）

中村 雄祐（東京大学大学院人文社会系研究科 教授）



第 81 回 2022 年 9 月 16 日

人文研究と教育の環境を科学する

——「比較文学比較文化」の現場から

報告者：今橋 映子（東京大学 教授）

韓程善（釜山大学 准教授）

井上 健（東京大学 名誉教授）

西田 桐子（和光大学 専任講師）

町田 樹（國學院大学 助教）



第 82 回 2022 年 9 月 23 日

関東大震災と東大医学部第二外科 II

報告者：赤川 学（東京大学大学院人文社会系研究
科 教授）

「東大医学部塩田外科「当日日誌」(1923)を読む」

鈴木 晃仁（東京大学大学院人文社会系研究科 教授）

「関東大震災と東大第二外科の患者たち」

質疑応答：中尾 麻伊香（広島大学 准教授）

高林 陽展（立教大学 准教授）



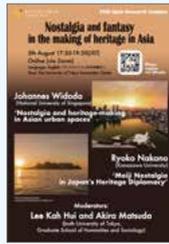
第 75 回 2022 年 8 月 1 日

顔知覚の心理学

The Psychology of Face Perception

報告者：Changhong Liu (Bournemouth University, Professor in Psychology)

企画者：鈴木 敦命 (東京大学大学院人文社会系研究科 准教授)



第 76 回 2022 年 8 月 5 日

Nostalgia and fantasy

in the making of heritage in Asia

報告者：ヨハネス・ウイドド (シンガポール国立大学)

‘Nostalgia and heritage-making in Asian urban spaces’

中野 涼子 (金沢大学)

‘Meiji Nostalgia in Japan's Heritage Diplomacy’

モデレーター：リー・カーファイ (東京大学大学院人文社会系研究科 博士課程)

松田 陽 (東京大学大学院人文社会系研究科 准教授)



第 77 回 2022 年 8 月 29 日

※8月12日より日程変更して開催

海保青陵は動く

——江戸後期の異色の儒者を捉え直す二つの視点

報告者：ミハヤエル・キンスキー (フランクフルト大学日本学科 教授)

徳盛 誠 (東京大学大学院総合文化研究科 講師)



第 78 回 2022 年 8 月 19 日

日本型援助理念 (Ideas) を問い直す

報告者：佐藤 仁 (東京大学東洋文化研究所 教授)

「問題提起と要請主義」

Yu Maemura (東京大学大学院新領域創成科学研究科国際協力学専攻 講師)

「自助努力支援」

Kim Soyeun (韓国・西江大学東アジア研究所 准教授)

「開発輸入」



第 87 回 2023 年 3 月 6 日

「顔」は何を語るのか：顔貌コレクションの活用と展覧

報告：高岸 輝（東京大学大学院人文社会系研究科 教授）

美術史学における「顔」——肖似性と様式分析

鈴木親彦（群馬県立女子大学 准教授）

顔貌コレクションを利用した人文学研究 —— 「遊行上人縁起絵巻」清浄光寺

甲本を軸に

ディスカッサント：上田 竜平（京都大学人と社会の未来研究院 助教）

中村 覚（東京大学史料編纂所 助教）

司会：永井 久美子（東京大学大学院総合文化研究科 准教授）

※東京大学「人文社会ウィーク」(3/6 [月]～3/12 [日]) イベントの一環として行われました。



第 88 回 2023 年 3 月 10 日

内外から見た

日本の保護司制度の現状と課題

報告者：ローソン・キャロル（東京大学大学院法学政治学研究所 准教授）

今福 章二（元法務省保護局長）

※東京大学「人文社会ウィーク」(3/6 [月]～3/12 [日]) イベントの一環として行われました。



第 89 回 2023 年 3 月 16 日

社会をめぐる想像力と社会調査

——比較歴史社会学の視座

報告者：富江 直子（茨城大学人文社会科学部 教授）
社会事業としての「社会調査」

李 永晶（華東師範大学政治学系 副教授）

デジタル化時代における社会の捉え方
——パンデミックの体験と観察を中心に

ディスカッサント：富永 京子（立命館大学産業社会学部 准教授）

佐藤 健二（東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授 / 執行役副学長）

モデレーター：祐成 保志（東京大学大学院人文社会系研究科 准教授）



第 83 回 2022 年 9 月 30 日

ジャック・ラカンによる「言語」

報告者：原 和之（東京大学大学院総合文化研究科教授）

ディスカッサント：立木 康介（京都大学人文科学研究所教授）



第 84 回 2022 年 10 月 14 日

東南アジアから世界を視る

人文系地域研究のアクチュアリティ

司会：青山 和佳（東京大学東洋文化研究所 教授、東南アジア地域研究・ダバオ／ミンダナオ研究）

趣旨説明：長田 紀之（日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究員、東南アジア地域研究・ミャンマー近現代史）

話題提供：長津 一史（東洋大学社会学部 教授、東南アジア地域研究・海民の社会史・人類学）

コメント：崎濱 紗奈（東京大学東アジア藝文書院（EAA）特任助教、沖縄研究・思想史）

福島 亮（東京大学／ソルボンヌ大学博士課程、フランス語圏カリブ海文学研究）



第 85 回 2023 年 1 月 13 日

「噂」から見る中国社会

——中華人民共和国初期農村社会における「謠言」

報告者：河野 正（東京大学附属図書館アジア研究図書館 助教）

ディスカッサント：丸田 孝志（広島大学大学院人間社会科学部研究科 教授）



第 86 回 2023 年 2 月 10 日

荻生徂徠『絶句解』の謎を解く

——荻生家史料の可能性

高山 大毅（東京大学大学院総合文化研究科 准教授）

リエゾントーク



「つながる人文学」をテーマに、HMC スタッフが企画・運営する学術的討論の場。

第3回 2022年9月16日

デジタル×ヒューマニティーズ

会場：総合図書館ライブラリープラザ・Zoomオンライン
齋藤 希史（東京大学連携研究機構ヒューマニティーズセンター機構長・東京大学大学院人文社会系研究科教授）
坂井 修一（東京大学附属図書館長・東京大学大学院情報理工学系研究科教授・歌人）
大向 一輝（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）



第3回は、待望の対面形式が実現。総合図書館のライブラリープラザとオンラインのハイブリッドで開催しました。ところも東京大学附属図書館。今ここで、デジタルと人文学について鼎談するならこの面々をおいてほかにない、という顔合わせで、静かに熱く語り合う3時間でした。

会場にお越しくださった皆さま、オンラインでご参加くださった皆さま、誠にありがとうございました。今後も、様々なかたちでのリエゾントークを開催予定です。どうぞご期待ください！

YouTube HMC チャンネル更新中！



昨秋より、「人文学を語る！」シリーズをYouTubeで公開しています。人文学とは何か？という大きな問いについて、フェローの先生方がそれぞれのスタイルで語る貴重なインタビュー。大学の講義でもなかなか巡り会えないかもしれません。聞き手は齋藤機構長。学生や研究者にとって刺激になること請け合い。大学スタッフの皆さまにもぜひ見ていただきたいシリーズです。先生方がどんなことを胸に研究しているか、覗いてみませんか？



【人文学を語る1】秋山健先生（東京大学大学院人文社会系研究科長）



東京大学ヒューマニティーズセンター機構長・齋藤希史で挨拶



第 90 回 2023 年 3 月 29 日

会場：東京大学国際学術総合研究棟 1 階文学部 3 番大教室・Zoom オンライン

VOC's Hofreizen: Japan, India and Persia
オランダ東インド会社の「宮廷旅行」——日本、インド、ペルシア

報告者：ヒド・ファン・メールスベルヘン（ウォーリック大学）

'Comparing Hofreizen: Perspectives from Mughal India'

大東 敬典（東京大学史料編纂所）

'Hofreizen to Persia: Environments and Cooperation'

レナルト・ベス（ライデン大学）

'Hofreizen in South India as Windows to the Power of Indian Courtiers'

司会：大東 敬典



第 91 回 2023 年 4 月 14 日

「リアリティ」の変容／不変容
——明治末期定期刊行物における
報道への写真の導入

前島 志保（東京大学大学院総合文化研究科
教授）



第 92 回 2023 年 4 月 21 日

国際金融協調と国際安全保障：
1920年代日本の経験から

原田 央（東京大学大学院法学政治学研究所 教授）

※特に記載のない回はHMC主催

※会場の記載のない回はオンライン開催

※所属等はすべて開催当時の表記です

HMC Booklet シリーズ

HMCでは、人文学及び隣接諸分野に関する新たな研究協創を目指した「Humanities Center Booklet シリーズ」を刊行しています。東京大学 学術機関リポジトリUtokyo Repositoryで公開中。東京大学総合図書館、駒場図書館でもご覧いただけますので、ぜひお手にとってみてください。



新刊

ダウンロードは
こちらから▶



Vol.17

関東大震災と東大医学部第二外科
東京大学ヒューマニティーズセンター オープンセミナー第57回より

鈴木 晃仁、鈴木 淳

2022年9月1日発行 / ISSN : 2434-9852



Vol.18

場所を共に耕す
Kuyog Pag-amuma og Lugar Cultivating a Place Together

青山 和佳、岸 健太、カルロ・アントニオ・ガライ・ダビッド、メイ・クリスティン・ボン・コロ
デニリョ、クリスチャン・C・パシオン、ネリー・Z・リンバダン

2022年10月1日発行 / ISSN : 2434-9852



Vol.19

排他と類杖 —— 作家イメージの類型論

永井 久美子

2023年3月20日発行 / ISSN : 2434-9852



Vol.20

アジアにおける知の創出と循環
—— 近代インドにおける日本表象の事例から ——

井坂 理穂、クラウディア・デーリヒス

2023年3月31日発行 / ISSN : 2434-9852

東京大学ヒューマニティーズセンター (HMC)

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学総合図書館4階
ヒューマニティーズセンター事務局



<https://hmc.u-tokyo.ac.jp/ja/>



https://twitter.com/HMC_UTokyo



<https://www.facebook.com/HMC.UTokyo>



https://www.instagram.com/hmc_utokyo/